

# 労災情報たかやま (H29.12月号)

高山労働基準監督署  
(安全衛生課)

平成29年11月末時点の労働災害発生状況について

主要産業の死傷者数 12次防目標値(H29は146件以内)達成ならず…

	平成29年	平成28年	対前年比 増減数	対前年比 死傷者数 増減率
全産業	(4) <b>149</b>	(1) 129	(3) 20	15.5%
製造業	(1) 34	38	(1) -4	-10.5%
建設業	(1) 30	(1) 20	10	50.0%
運送業	11	9	2	22.2%
林業	(1) 14	13	(1) 1	7.7%
その他	(1) 60	49	(1) 11	22.4%

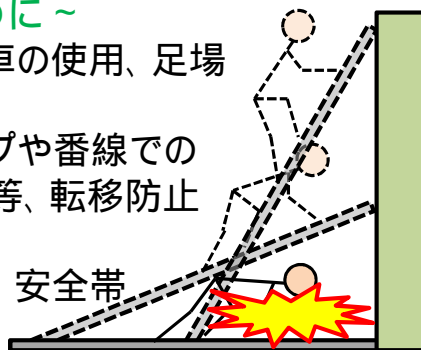
注1)カッコ内は死亡者数 注2)死傷者数は休業4日以上のもの

## 年末年始を無災害で過ごしましょう

年末年始は慌ただしい中での大掃除や機械設備の保守点検・始動等の作業が多くなります。大掃除では普段立ち入ることのない高所へ立ち入っての清掃や、通常のメンテナンスでは実施することのない安全装置を解除しての機械内部の点検を行うことがあります。このため、高所からの墜落・転落災害や機械へのはさまれ・巻き込まれ災害の発生が懸念されます。

### ～ 墜落・転落災害防止のために～

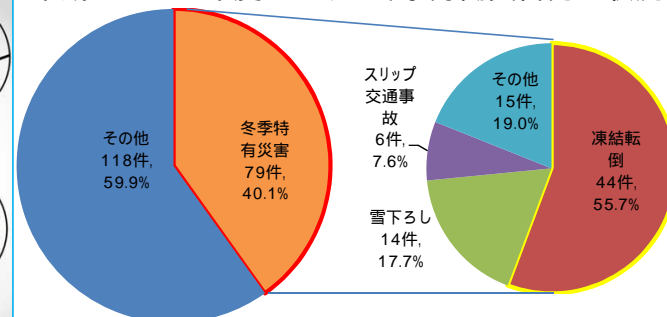
- 高所での作業時は、高所作業車の使用、足場の設置を行うこと。
- はしごを使用するときは、ロープや番線での固定や他の労働者による保持等、転移防止対策を行うこと。
- 足場の設置が困難な場合等は、安全帯の確実な使用を行うこと。



## STOP! 冬季労働災害プロジェクト実施中!

冬季(毎年12月から翌年2月まで)の労働災害のうち、凍結を原因とした転倒災害、スリップによる交通労働災害や雪下ろし時の墜落・転落災害等の冬季特有の労働災害が約4割を占めています。これら冬季特有の労働災害を防止するために、当署では**STOP! 冬季労働災害プロジェクト**を推進しています。

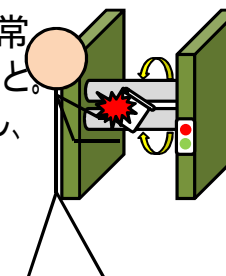
平成25～28年度における冬季労働災害発生状況



リーフレット等は岐阜労働局HPよりダウンロードできます。

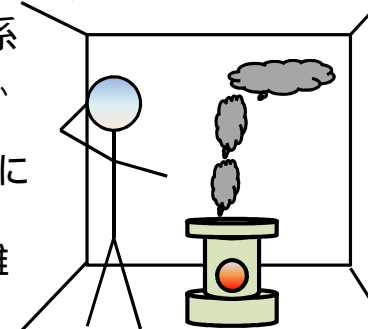
### ～ 機械へのはさまれ・巻き込まれ防止のために～

- 機械の掃除、給油、検査、修理又は調整等の非常作業を実施する際は、必ず機械を運転停止すること。
- 非常作業を安全に行うための作業手順を作成し、関係労働者に周知すること。
- 機械の電源等を落としても、しばらくの間惰性で動き続けるものがあることに注意すること。



### 燃焼系暖房器具等使用時にも注意!

寒さ対策のため、ストーブ等の燃焼系暖房器具を使用することがありますが、特に閉め切った室内等では、適切な換気を行うことにより、一酸化炭素中毒による労働災害予防に心がけてください。また、可燃物などをストーブから離す等、火災にも注意してください。



中災防 平成二十九年年度年末年始無災害運動標語  
**異常なし! ダブルチェックで念入りに年末年始もゼロ災害**